

がん化学療法レジメン

レジメン番号:C18-08o 大腸がん ラムシルマブ+FOLFIRI療法

投与日	投与経路 投与時間	
day1	◎ ヘパリンNaロック用シリンジ 10単位/mL (ライン確保用)	
	1 グラニセトロン注 1mg+デキサメタゾン注 9.9mg	div 30分
	2 生食 50mL (フラッシュ用)	div 全開
	3 ラムシルマブ 8mg/kg+生食 250mL	div 60分
	4 生食 50mL (ポートフラッシュ用)	div 全開
	4 生食 50mL (ポート側管ライン確保用)	div 全開
	5 レボホリナート(I-LV) 200mg/m ² +5%ブドウ糖液 250mL	div 120分
	5 イリノテカン(CPT-11) 150mg/m ² +5%ブドウ糖液 250mL	div 120分
	6 5-FU 400mg/m ² +5%ブドウ糖液 100mL	div 全開
	7 5-FU 2400mg/m ² +生食 50mL (外来:携帯型ポンプ利用)	civ 46時間
	8 生食 50mL (フラッシュ用)	div 全開
	◎ ヘパリンNaロック用シリンジ 10単位/mL (終了時ヘパロック)	

14日間を1コースとし、上記を施行する。

ラムシルマブ投与30分前までにジフェンヒドラミン錠 10mgを5錠内服。

ラムシルマブ:初回は60分、忍容性があれば2回目以降の投与時間は30分まで短縮可。

デキサメタゾン 8mgをday 2-3に内服。